

令和4年度 第2回霧島市母子保健検討委員会 会議趣旨

開催日時	令和4年10月19日(水) 19:30~20:30		
開催場所	霧島市役所 7階 701・702会議室		
出席委員	植木委員長、前田委員、磯脇委員、高山委員、新田委員、塗園委員、藤谷委員 坂口委員、松久保委員		
事務局	【健康増進課】小松課長、上小園保健予防グループ長、柗健康づくり推進グループ長、清水主査、脇丸サブリーダー 【すこやか保健センター】島木所長、富吉副所長、小島主査 【こども・くらし相談センター】坂口サブリーダー 【学校教育課】橋口指導主事		
公開・一部非公開又は非公開の別	公開	傍聴人数	0人
議事 (1)「健康きりしま21(第4次)」計画素案の概要について (2)「健康きりしま21(第4次)」計画素案 第4章 分野別の具体的な取組 重点的な取組【母子保健分野】について (3)その他			
協議結果等の概要 委 ：委員 事 ：事務局 (1)「健康きりしま21(第4次)」計画素案の概要について ⇒ 事務局が資料に沿って説明。委員から質問はなし。 (2)「健康きりしま21(第4次)」計画素案 第4章 分野別の具体的な取組 重点的な取組【母子保健分野】について ⇒ 事務局が資料に沿って説明。委員からの主な質問は次のとおり。 委 ：子育て支援をしている立場だが、行政の相談窓口がわからないという声をよく聞く。民生委員がやる相談訪問事業・行政の相談窓口と共に、子育て世代の集える場所があるということを知って欲しい。 事 ：そのように努めたい。 委 ：母子だけでなく、父子への支援も必要ではないか。 事 ：父子への支援については、母子と同様に、妊娠期から子育て期まで全数を把握し、しっかりと継続して子どもたちの支援をしている。希望がある場合は、いつでも相談に対応する。 委 ：母子推進員として赤ちゃん訪問をしているが、自分たちが訪問した後は、どのようなフォローをしているのか。 事 ：母子推進員の方々からいただいた報告書を基に、おめでとうコールという電話連絡をしたり、その電話で様子が気になる方は緊急訪問をしたりしている。いただいた報告書には必ず目を通して、継続的に様々な形で支援を行っている。 委 ：最近取り組んだ事業で、子育て支援センターで学校に行けない子どもたちを支援する事業がある。霧島市内ではこのような事業に取り組むところが他にもあるのか。 事 ：霧島市内には2か所支援センターがあると承知している。今、そういう前例ができていたというのを初めて聞いたので、そういうのが増えていくとよいと思う。			

委：人工死産数に占める20歳未満の人工死産割合について、20歳未満の割合が高いということだが、割合を出し目標値を定めることに意味はあるのか。

事：若い世代で人工死産を行うということは、心身ともに負担が大きくなる。産む選択、産めなかった選択というのも心の傷として残るかもしれないので、目標値を定めて、望まない妊娠にならないよう関係機関と連携して取り組みたい。

委：令和2年に開設した「にじいろ」についてだが、この言葉が全然出てこないがどうしてか。

事：自分たちも虐待を疑うような事案については「にじいろ」と連携をとっている。この計画の中で「にじいろ」という言葉を出すことが難しかったが、関係機関との連携を図るという形で表現している。

委：学校現場では命の大切さについて、保健体育の授業や学級活動等で指導をしている。それに関連して、教材の貸し出しがあるということだが詳しく教えて欲しい。

事：すこやか保健センターで赤ちゃん人形を貸し出ししている。また、妊婦体験スーツというものもあるので、生徒さんに体験してもらい活用していただきたい。

(3) その他

⇒特になし

会議資料

【配布資料】

- 会次第
- 令和4年度霧島市母子保健検討委員会委員名簿
- 霧島市健康・生きがいづくり推進における各種委員会の設置に関する要綱
- 霧島市附属機関等の会議の公開に関する指針
- 健康・生きがいづくり推進の組織体制
- 健康きりしま21(第4次)素案
- 資料編(案)